

国際デザインセンター

所在地：愛知県名古屋市中栄区3-18-1

設 置：株式会社国際デザインセンター

運 営：株式会社国際デザインセンター



■館の概要

1985年に市制100周年を記念して名古屋市で開催された世界デザイン会議および世界デザイン博覧会を受け、デザイン集積基地をめざす名古屋地域において本格的にデザインに取り組む場として構想され、愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所が中心となり設立した第三セクター方式による法人。

施設としては、名古屋市の中心部である栄区の名古屋市立中央高校跡地再開発地域に複合商業ビルとして建設された。デザインの育成、創造、交流を柱に、セミナー・展示会の開催、コンサルティング、研究開発、情報収集、出版・イベントなどの事業を行っている。同センターには、デザインミュージアム、ミュージアムショップ、デザインホール、デザインギャラリー、セミナールーム、デザインライブラリ、デザインラボ、ショッピングモールがある。

■情報システムの概要

同センターの情報システムは、デザインライブラリに設置された来館者用のデータベース検索用端末、共同研究開発室に設置されたデザイン作業を行うワークステーションやパソコン、事務室に設置された情報提供やデータベースサーバーを館内ネットワーク(LAN)で接続した分散型のシステムである(図参照)。

デザイン分野の民活法の施設としては同センターが初めての施設であることから「通産省の指導などによりオーバースペックなものにならざるを得なかった。事業全体のなかでのシステムの位置づけがやや曖昧になっている」(担当者)とのことである。

現在、同センターではデザインデータベースの構築を進めている。愛知県内では名古屋市立大学芸術工学部などを中心にデザイン関係の研究・教育機関が充実してきており、地域のデザイン関係の企業、若手経営者、デザイナー、振興・教育機関などの情報をインターネットなどを通じて内外に提供していくための情報収集を行っている。

また、デザインセンターでは10室のインキュベーション用のオフィスを賃貸しておりすべてのオフィスにLANの設備が引かれている。これを用いてセンターのデータベースを

活用している企業もいる。

デザインミュージアムの展示系システムは、デザイナーに焦点をあて、ミュージアム所蔵の作品の解説を映像などを用いたマルチメディア情報により提供するものである。システムはパソコンと市販のオーサリングソフトを用いたもので実物の展示と合わせて立体的に作品の理解を助けるものとなっている。

国際デザインセンター 事業支援/管理運営システム 情報系ネットワーク構成

